

令和6年度外部評価
「サービス評価総括表」

小規模多機能型居宅介護
やわらぎいくし村

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社やわらぎ	代表者	寺川勲雄	法人・事業所の特徴	・有限会社やわらぎとして、松山市、東温市にグループホームを4事業、小規模多機能型居宅介護事業を2事業、介護保険外サービスとして、市内に高齢者向けの賃貸住宅の運営を行っている。小規模多機能型居宅介護やわらぎいくし村は4階建ての3階部分で同一建物内の2階がグループホーム、4階が高齢者向け賃貸住宅、1階には内科・循環器内科専門の病院(別法人)が併設。同一敷地内には、NPO法人SORA精神障がい者の就労支援事業所と新たに地域の学童の放課後の居場所作りを目的としたくりた子どもひみつきちを開設している。要介護者を対象とした登録定員を18人、通い定員を12名、宿泊を6人。久万ノ台の小規模多機能居宅介護事業所を本体としてサテライト運営を行っている。住み慣れた地域での在宅生活の継続を、ご利用者、ご家族の意向や生活環境、身体状況等を踏まえて、必要なサービスの提供に努めています。今年度はケアの本質の見直しをするべく、法人で令和5～6年度はユマニチュード育成研修を2回行い、特にコミュニケーションの見直しと実践につなげています。利用者の機能低下を可能な限り防ぎ、温もりのある人間関係を大切に心身ともにもてる力を生かせるような介護計画と実践が出来るようにご家族や関係機関(専門職)との連携を密にして職員一丸となって取り組むように努めたいと思います。職員の質の向上のため、毎朝の3分間研修を行って9年目になります。
事業所名	(本体) 小規模多機能ホームやわらぎ (サテライト) 小規模多機能型居宅介護やわらぎいくし村	管理者(本体) 施設長(サテライト)	越智美代子 田村富美子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	3人	人	人	1人	1人	2人		7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>◎利用者おひとりお一人に必要なケアについてチームでユマニチュードの哲学や技術の学びを進め、統一したケアを行う。</p> <p>・毎日のご利用者とのより良い出会いからケアを行う。</p> <p>▶目線を合わせる。▶そっと体に触れる。▶話しかける</p> <p>・ご利用者の機能を活かしたケアを行う。</p> <p>・毎月のスタッフ会で振り返りを行う。</p>	<p>今年度、ユマニチュードの実践研修を受けた職員は3名で、半数を目指していたが、実施できなかった。研修を受けた職員についてケアの見直しとコミュニケーションの大切さとその技術について学べ、個別の利用者の対応に変化があった。コミュニケーションの入り口への職員の意識が少しずつ、変化が見られるようになってきたと感じている。</p>	<p>▶職員全員で自己評価を行い、取り組みは良好だと思います。出来ている点、課題が積極的に寄せられ、意識の高さを感じました。▶職員さんによって、日々の業務に追われて記録が出来ない方、後回しにして忘れる方と言った方がいるようなので、職員間でのばらつきができるだけないようにしていただけないかと思えます。▶全員で取り組んでいる。▶きちんと評価できていると思った。▶できている点、できていない点、細かく報告できていると思えます。▶いいと思う。▶初期支援の改善計画に対して様式にこだわらない方が・・・という取り組み結果から日々のケアについても職員間で話し合い実践できているのだと思いました。▶利用者の意見を取り入れたレクレーションを行っていることは良いことだったと思う。▶ケアプランに繋がる情報に★印をつけ一目でわかるようにすると多量の記録の中から拾い上げがしやすく職員間での共有がよりしやすいのではないか。▶金の問題になるので変わりにくいと思いますが、人が足りない市と県に申しあげられないでしょうか。可愛そうで申し訳ないです。何なら私も出席しますよ。▶夜勤専従の職員さんが夜勤専従だから関りが無い、自宅の生活が分からないとありました。夜勤専従の職員さんができることや情報収集の手段はないですか。▶毎日忙しいスタッフの皆さんに心より敬意を表し感謝</p>	<p>◎利用者との関りや活動の様子や状態変化など、端末の音声入力も活用しながら記録漏れを減らし、個々のご利用者の機能の維持や支援方法などに繋げる。</p> <p>◎ケアの始まりは「目と目を合わせ、そっと肩に手をおき、話しかける。」を継続できるように、毎月のスタッフ会で振り返りを行う。</p>

申し上げます。▶自己評価では活発に意見が出され取り組みは良好だと思います。▶困りごとや訴えを聴く事は大切なことですが、楽しい事、好きな事、嬉しい事等も聴くと気持ちがポジティブになると思います。笑顔にも・・・▶ページの大きさをもう少し大きくして頂いて欲しいですね。留めピンの近くが開けないので読みにくいです。いろいろお世話になっているから申し訳ないですがよろしく願います。▶なし▶喫茶もしているけれど、地域の人は何をしているか分かりにくいと思います。私たちは前からきているので、大体のことはわかりますが。▶年間行事計画を年度初めに貰うけれど、それがあったことも忘れてしまうので、毎月でなくてもいいし、半年に1回でもいいので行事計画を案内して欲しい。この会議で案内して貰えたらいいかと思う。評価をする時に常時、直接関わっている、関わっていないのでは「わからない」と評価するしかない項目もある。▶今は寒いのとインフルエンザの感染症もあるから、今直ぐではないけれど、この「ひみつきち」の場所ではなくて事業所で開催してもらいたい。無理はせんでいいですよ。▶事業所の活動報告も「しましたか」で終わってしまう。▶久しぶりに芋炊き会で行くし村行って良かったです。こういう機会が少しずつ増えて行くといいと思います。▶私たちもコロナ禍前はいろんな行事に地域の方に参加していただいていたが、事業所内に足を運んでもらったのは久しぶりでどうやって進めていたかと段取りにあたふたしました。10月末の法人内の小規模対抗運動会も今日ご参加の松本さん、那須さんが見に来て頂く事になっていたが、天候が崩れ、いくし村の室内で行いましたが、その変更なったことをお伝えできていなかったことが反省です。運動会は久万ノ台の事業所の職員が中心になって和らぎを整えていると思います。▶事業所に入る機会がなかったので、状況が落ち着いたら、見学させていただきたいです。引き続き、環境整備に努めて下さい。▶わかりません。▶いいと思う。▶事業所に訪れるのが滅多にないため、よくわからないが、事業所の自己評価から地域のイベントの参加がされているので、外出されていることがわかる。▶食事については季節を感じる事ができるメニュー 食材の使用があげばいいと

B. 事業所の
しつらえ・環境

◎季節を感じる環境をつくる。(食事・季節の花・外出)

◎事業所の空きスペースを活用してくつろげる空間をつくる。

・事業所内や外の花壇、4階のベランダを活用しての野菜の栽培と食事に活用したりはできたが、ご利用者と日常的に花屋野菜の世話などをして頂く機会は殆どできていない。ご利用者が役割となってもらえる等の対応が出来るとより楽しみに繋がったかと思う。季節の花などは花瓶に生けたり、利用者を生けて頂く機会はあった。
・空きスペースの活用は廊下にある、テーブルは日常的に活用したり、事務所は個別の対応が必要な場合は活用する事はあった。空き部屋の活用については整理ができず、活用に至らなかった。

・開所当初から地域の方が参加してもらえるように始まった「いくし村喫茶」コロナ禍を経て、年

思う。▶ソファを置き、くつろげる空間作りをされているが、他に空きスペースを活用し、くつろげる空間作りをされたのでしょうか。▶いつ行っても整理されており、花も飾られている。3階にあり、気軽に来れないのかもしれない。▶いつもひみつきちの開催なので、施設内の様子を見せていただきたいです。▶しつらえの意味がわかりません。教えてください。▶成年後見制度の利用をしているが意味がわかりません。一度専門職に会わせてほしいです。内容は何を下させるのか、どうしてそんな制度があるのかです。▶1階玄関が施錠してあるので、直ぐに入れないが、今時、施錠してあるのは当たり前だから、この項目はなくていいのではないかと。▶この項目については法人内のグループホームで24時間施錠しない事方針になっていました。高齢者自身が自由に出入りできるように、拘束しないが理由でしたが、夜間は職員一人でもあり、不審者の侵入を防止するため、セキュリティの為に施錠させて欲しいと会社に伝えて夜間の施錠する事になりました。日中も施錠しているところもあるかもしれませんが、この項目については文言も含めて検が必要かもしれませんね。▶私たちはどうしても困っていることに目を向けやすいですが、楽しい事、好きな事、嬉しい事を聴くと気持ちがポジティブになる。の意見はそうだなと思いました。▶障がい者の声かけも「いいことあった？」と聴くのと「なにかあった？しんどそうだけど」と聞くのでは返ってくる言葉が違う。前者は気持ちがポジティブになるので聴き方で変わる。▶ご利用者から成年後見制度について専門家から話が聴きたいと書かれています。地域包括には社会福祉士がいますのでお話ができるかと思えます。

▶祭りへの参加など関わっているとします。▶地域の方へ向けたイベントや祭りの参加など、双方の交流が見られ、取り組みは良好だと思っています。今後、地域の拠点として、活動していただけたらと思います。
▶コロナ禍で関りがなかなか持てなかったが、少しずつ交流の機会が増えてきていると思います。▶努力していると思います。▶わからない。◎同一敷地内にある事業所や地域の方

◎1階玄関と門扉に地域の方や来訪者がわかり易い表示をする。※各階数だけでなく事業名も含めて、人の視線を意識して場所を決めて表示する。

C. 事業所と地域のかかわり

◎同一敷地内にある事業所や地域の方と交流の場を設け、地域の実情や各事業所の運営などについて知っていただく機会をつくる。

度後半にはなるが再開する。同じ敷地内の児童の立ち寄りスペースとしてはじまったくりた子どものひみつきちの子どもさんが参加してもらえるようにもなった。

- ・秋の芋炊き行事にも地域方のに数名ではあるが参加してもらう事ができて、事業所内へ足を運んでもらうことができ、久しぶりに事業所内のご利用者との交流ができた。
- ・地方祭で提灯行列や子供神輿に入ってもらったり、
- ・新玉地区の運動会に短時間で、参加される利用者も限られたが参加が叶った。

と交流の場を設け、地域の実情や各事業所の運営などについて知っていただく機会をつくる。▶地域の方を交えた避難訓練、応急処置の講習に参加していただく事で相互理解ができ、災害時に互いに協力し合える関係になればと思います。▶「くりた子どもひみつきち」の子どもとの交流ができていて、ホットケーキを食べた感想に心が温まりました。今後も交流が続き、利用者の方々の刺激になればと思います。▶くりた子どものひみつきちも地域に根付いてきているので、これからも気軽に立ち寄れる場所としてよろしくをお願いします。▶毎回の運営推進会議に地域の方が時間を空け、参加していただけているのはすごいと思うのと地域の方に事業所が理解をしてもらえているのだと感じた。

◎事業所の活動の様子を道路に面した掲示板と建物内のエレベーター内に定期的に掲示する。
◎地域の方に参加してもらえる行事を増やす。年間計画に入れる。※行事の開催時期が近づいたら運営推進会議で再度、案内する。

▶事業所の周辺を掃除し、あいさつの継続をすることにより、周辺の様子の会話から介護の相談についての相談等の事業所が地域に役立つことにつながると思います。▶?▶コロナ禍で交流が難しい中、徐々に地域との連携を再開され、取り組みは良好だと思えます。▶自宅のある地域との関りがあれば知りたい。
▶わかりません、 ▶わからな

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>◎地域包括支援センター主催の地域ケア会議に参加して、事例検討を通して個別の実情や地域資源などの活用等について学ぶ。</p>	<p>日程が調整できず、案内をもらったが参加できなかった。運営推進会議で地域包括の役割について話していただく会があり、その回の時に地域の活動などの状況も聴く事ができた。</p>	<p>い。 ▶4の項目で1事業所にここまで求めるのかと感じた。▶1事業所が全て担うことはできないですが、専門機関に繋ぐ、例えば地域包括や民生委員さんに繋ぐ役割は担えるかもしれません。そう言う役割で地域の方に知ってもらう事も必要かと思えます。実際に地域の役員さんから学校へ通いにくい子供さんの相談で「くりた子どものひみつきち」の職員さんから専門機関についての紹介して頂く事に繋がったこともあるので、ヤングケアラーなども含めて情報を伝えられることが増えるといいかと思えます。▶地域の方たちが集まりやすいよう、地域とのつながりや交流を大切にされているので、大変やわらぎいくし村さんの存在は大きいです。</p>	<p>◎SNSの活用で発信をする。(インスタグラム・ユーチューブ) ※担当職員を決めて行う。</p>
			<p>▶地域やご家族から意見や苦情は即時的に共有し、改善に取り組む姿勢で臨んでいるとあったので、運営推進会議で募った意見は反映できるようにされているのではないかと思います。▶きちんと取り組んでいると思います ▶運営推進会議で</p>	

E. 運営推進会議を活かした取組み

◎新玉地区の行事に参加して交流を深め、事業所を知っていただく機会を増やす。※「防災訓練」「文化祭」「運動会」等。

◎会議の中で地域行事の日程や参加の有無、報告を行う。

・新玉地区の運動会へ4年ぶりに参加できた。活動報告として運営推進会議で行えた。
・法人内の小規模多機能型居宅介護事業所間で運動会を生石の集会所横のグラウンドをお借りしていたが、天候の関係でいくし村での開催する。事前に地域の方が見に来てくださる予定になっていたが、室内に変更したことを伝えきれておらず、連絡の不備が生じてしまった。

はくりた子どものひみつきちを活用し、地域の拠点としても役割を担っていると思えました。
▶がんばっていると思います。
▶わからない。▶新玉地区の行事に参加する機会が増えていけばいいなと思います。・具体的な改善計画に夜勤専従の職員にも運営推進会議に参加してもらおうとありましたが、運営推進会議の開催時間を調整し（夜勤者がいる時間帯）開催されるのでしょうか。▶個人情報扱いもあり、事業所の近隣の方のケースは特に気をつける必要があるかと思えます。▶地域だったら知っていることも多いので情報で知ってしまう事もあるかもしれない。▶精神障害者の事例検討などについてはまず、本人の承諾があるので本人の承諾がなければできません。

◎くりた子どものひみつきちの場所の活用について年間計画で行事を行う。※地域の大人が集える活動を行う。

▶同じ建物に病院、グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所、シェアハウスイクションとありますが、訓練の時にどのように

F. 事業所の
防災・災害対策

◎コロナ禍に実施できなかった地域、他事業所、ご家族が参加して頂ける防災訓練を実施して事業所の実情を踏まえて、災害への対応、備えについて認識を深める。

避難訓練は2回、同じ敷地内の事業所、病院、地域の方の参加で行う事が実施できた。意見交換で、改善点、今後の訓練の内容などについても意見交換ができた。今後は事業の継続に向けた内容を踏まえた訓練の計画を立てるようにしたい。

協力、連携をされているのでしょうか。訓練後の反省点や気づきがあるかと思います。改善に向けての取り組みはどうされていますか。訓練実施の日程が合えば参加してみたいと思います。▶しっかり対応していると思います。▶今後も地域と連携し、訓練に努めていただけたらと思います。▶地域の方々と消防訓練を行った。今後起こりうる災害についても話す場を定期的にもてたらいいと思います。▶取り組んでいると思う。▶定期的に行われる訓練や講習は毎回、多数参加して行われ、勉強になっています。・運営推進会議の時に救命救急講習をさせて頂きいい機会をいただきありがとうございました。▶運営推進会議の時に救命救急講習をさせて頂きいい機会をいただきありがとうございました。

◎災害が発生時、参集、避難から生活の継続のための準備や自助、共助について学ぶ機会をつくる。
◎地域の方に発電機使用の体験をしていただく。発電機で電力供給をして器具を作動してみる。

令和6年度外部評価
「事業所自己評価」

小規模多機能型居宅介護
やわらぎいくし村

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 10 月 16日 (9:30 ~11:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員11名 (※サテライト事業所として自己評価対象職員11人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		7人	3人		10人

前回の改善計画

フェイスシートやアセスメントシートに利用開始時に関わり得た情報を記入しやすい様式を加えて活用する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・様式にこだわらない方が記録しやすいとの意見が出て、「日付」「見出し」「内容」記入し、職員間で周知した。
- ・気が書きやすかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		8人	3人		11人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		10人	1人		11人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?		9人	2人		11人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1人	8人	2人		11人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・皆でレクレーションを通して一日を楽しくワクワクした日々を過ごさせてあげるように輪投げが好きな人、塗り絵が好きな人、各々、趣味が違うように皆様の好きなものを進めたいし、心がけている。
- ・本人が現状思っている事、して欲しくない、不安な症状や訴えなどは受け止め支援や声かけを行っている。
- ・利用者の様子を日々、ミーティングや申し送りで伝える事が出来ている。まず、必要としている支援を考えながら実践できている。
- ・利用開始の前に情報をフェイスシートやアセスメントシートで共有できている。利用開始後も事業所職員間でご本人の様子または支援内容について情報を集め、共有していくようにしている。
- ・初期の支援はできるだけ積極的に関わるように心がけている。
- ・ちょっとした事の声かけをしている。
- ・本人の情報をアセスメントシートなどで確認、朝の申し送りや他の職員にも教えて貰っている。
- ・利用開始の時はフェイスシートやアセスメントシートに目を通すように心がけている。ご本人がまだ慣れていない時にはこちらから積極的に声掛けを行うようにしている。
- ・情報に基づき、少しは理解できている。
- ・利用者さんの必要な情報は把握できていると思っている。
- ・事前面談の時にご本人、ご家族からお聞きした内容は議事録やフェイスシートやアセスメントシートにまとめ、利用前に職員に周知を図るようにしている。また、新たにご家族からの情報や関わってからの様子なども記録して周知、共有するようにしている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・まずは皆さまの趣味などを聞き出し、やる気を起こす原動力作ってあげる。職員がアプローチしてもご本人自身も気力を無くしている場合もある。 ・利用者本人のご家族に対しての直接的な支援は多くはできていない部分がある。ご家族に関わる機会が少ないため。 ・声掛けや利用者への気遣いができちないと思う。人員不足でゆとりをもって関わる事ができていないと思う。 ・はじめのかかわりとしては完全ではないが出来ているので不安を受け止め（情報の共有）そして、関係作りの配慮として十分かどうかは分からない。職員が家族や介護者への配慮として、振り返りをしていく必要はあるかと思う。 ・入職後半年足らずで、利用者のフェイスシートやアセスメントシートなど確認ができておらず、他の職員から口頭での情報に頼っている。責人者やその他のスタッフ間での周知事項に自身が追いつけていない。 ・自分の中で正しいケアができているのか？（これでいいのか？）ってなっている。自分でできているのかが分からない。 ・家族、介護者の不安を受け止め関係づくりの配慮ができていない。家族、介護者との関りが少ないために、たまに会う機会が出来た時に自分から接する事が難しいため。 ・利用者や家族の不安に思われるていることが何であるのかが最初はわかりにくいし、コミュニケーションが取り辛い。最初だと相手の方がどう言うかたなのか関係が浅いとわからないので。 ・できていないとは思っていない。 ・フェイスシートやアセスメントシートを目通しして下さいだけでは目通しできていないことも多い。改めてスタッフ会などでの周知が必要。現場の慌ただしさでゆっくりと目を通す時間がもてていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>◎毎朝の3分間研修を利用して、初期支援の情報共有をする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 10 月 16日 (9:30 ~11:00)

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員11名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員11人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?		6人	4人		10人

前回の改善計画	月1回のスタッフ会に参加できない職員が議事録の目通し後に記入した意見は、会議後の1週間内にその都度、朝の申し送りで報告し、内容によって検討し実施に繋げる。次月のスタッフ会で再度報告する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・シフト調整でスタッフ会に出来るだけ参加してもらうようにしているが、参加できない職員が議事録に目を通して意見を述べてもらえるように別紙を準備する事で、議事録やモニタリングにも目通しし、意見の記入も概ねできている。しかし、十分とは言えない月もあった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		9人	2人		11人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7人	4人		11人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		8人	3人		11人
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		7人	3人	1人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意見を取り入れ、レクレーション等毎月行事カレンダーを作成して利用者に渡している。 ・利用者本人の当面の目標に必要な実践をする内容をミーティングで話し合い、意見を出し合い対応に生かすようにしている。 ・利用者や家族の希望に沿って支援ができている。 ・ケアプランに基づいて本人が目標にとすること、そしてそのゴールまでの目標については理解できている。 ・月一回のスタッフ会の参加に心がけており、参加できない時は議事録に目通ししている。 ・本人が「～したい」ことを分かって対応している。 ・スタッフ会に参加できていない時は議事録を必ず目通しして、変更点などを職員に聴き対応する。 ・スタッフ会の議事録に目を通し、自分の意見を記入することも出している。 ・アセスメント等や会話等から得ている。 ・大体できていると思っている。 ・ライフレポートプランを通して他の職員に説明を行って伝えている。特に担当職員は毎月のモニタリングでケアプランに見る機会が多く周知できている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が退屈されている時間を開放できないものだろうか、自分自身ではなかなかいいプランを立てるのに苦慮する。利用者の対応で無理難題の多い日々、計画を立てる事ができず戸惑う日々をおくっていた。 ・利用者本人の以前の暮らしは10個以上は把握できていないと思われる。一人ずつの以前の事を聴く機会が特になかった。 ・ご本人の目標「～したい」の関りができていない。関わる時間、ゆとりを持って行動ができていないため。 ・ご本人の状況（身体状況含め）とご本人のとを結びつけての日々の関りの理解ができていない時がある。実際どういう関りをもって対応していくのか、具体的なことが十分理解できていない。 ・実践した内容をミーティングで、発言、振り返る、次の対応へ活かすことができていないと思う。モニタリングの記入漏れがあったり、伝え忘れがあった。 ・スタッフ会の1週間内に朝の申し送りで報告はできていない。朝の申し送りで報告する習慣ができていない。 ・できていないとは思っていない。 ・利用者の担当になっていない職員や担当以外の利用者のライフサポートプランを見る機会が少なく、日々の支援内容は理解しているが、何をゴールに行っているかが伝わりきれいていないことがある。全職員にプランを見ながら説明が出来ていない。時間がなかなかとれない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>◎スタッフ会でモニタリングをする時間にライフサポートプランを伝えながら、参加できていないスタッフが目通しできるように議事録のファイルに1週間綴っておく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 10 月 16日 (9:30 ~11:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員11名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員11人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?		1人	5人	3人	9人

前回の改善計画
申し送り記録の記入方法でケアプランに繋がる情報は、★印をつけて一目で分かるようにし、モニタリングの様式の気付きの蘭に担当職員が転記するようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・★印はかつようできていないが、申し送りや記録からモニタリングへ転記したり、反映はできている。 ・申し送りは気をつけてできているが、利用者の日常の記録が少ないので、端末も音声入力ができるので、慌ただしい中でうまく活用できたらいいと思う。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1人	9人	1人	11人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2人	8人	1人		11人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		9人	2人		11人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		9人	1人		10人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか?		9人	2人		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対して、日頃から家族と同様な関りと心構えを持ち、介護、介助を実行している。支援そのものが楽しくできている。 ・本人の気持ちやその時々の変化に気付いた時はその都度共有し合って、解決策や処置を考えるなどして、利用者ひとり一人の変化と向き合っている。 ・本人の体調を聴き取り、入浴拒否の方で他の職員と相談をしながら清拭対応をして無理をしないなど工夫ができています。 ・体調の変化はその都度共有し、ご本人に合わせた対応、支援を行っている。 ・日常の気付きや問題点だと思える事については責任者や他の職員に提起している。 ・その時の状態に応じた対応ができています。 ・本人の状況に合わせた身体的な介護は行えている。 ・ご本人の状況に合わせた食事、入浴、排せつ介護はできている。 ・申し送りやスタッフ会において体調の変化等は共有している。 ・大体できていると思っている。 ・日々のコミュニケーションや業務も含めて利用者の自宅の訪問や本人、ご家族とからの意向やご意見が直接聴くのと他の職員への共有も行っている。即時的な対応調整も行って支援に結び付けている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身が誠心に欠ける面があるかと思う。もっと親身になって接して介護者の意識を思っって行動する事が必要と思う。利用者が気に入った職員を選択している面もあり、前に向いて進めない。 ・利用者本人の以前の暮らしは10個以上は把握できていないと思われる。一人ずつの以前の事を聴く機会が特になかった。 ・ご本人の生活環境がよくわかっていない。利用者の暮らしのシートや情報ファイルを見れていない。 ・自宅での生活環境の理解においては通い中心に利用している方の生活環境もご家族からの情報が十分でない場合と、独居の場合はご本人からの情報が得られない場合がある。ご家族の方も仕事をされていたり、一緒に過ごされない時間もあるので十分な情報収集と共有が難しい。独居の方でご本人からの情報収集が困難で生活状況からするしかできない場合もある。 ・ご利用者様の日常についての記録はできていない。記録を後でしようとするとうわすれることが多い。 ・本人の以前の暮らし方はあまり把握できていない。本人の事をあまり理解できていない。 ・本人の気持ちの変化の共有はできていない時もあったと思う。体調の変化については共有出来てきていたと思うが気持ちの変化については他の職員からの情報により知ることが多かったと思うから。 ・申し送り記録の記入で重要な点（ケアプランに繋がる情報など）に一目でわかるよう、印をつける事はできていない。ケアプランにあがるような情報があげれていないし、情報があつたとしても気付けていない。 ・情報が把握できていない。 ・利用者の以前の暮らし方、10以上把握できていません。夜勤専従なので自宅の生活は分かっていない。 ・即時的な対応については他の職員に行ってもらう場合もあるが、ケアマネ自身が対応することも多い。対応を通して状態把握や必要な支援内容等、他の職員へ改めて共有し行ってもらうこともある。現場の職員は他の利用者の対応と重なることも多いのと判断に困る時もある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>◎利用者の対応後、直ぐに記録をすることを習慣化（意識し、当たり前になる。） ※端末の音声入力を活用する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 10 月 16日 (9:30 ~11:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員11名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員11人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?		1人	4人	5人	10人

前回の改善計画	地域資源とエコマップについての勉強会をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	3分間研修で資料の読み合わせをして行った。細かい所の追記や修正が追いついていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5人	5人	1人	11人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		6人	4人	1人	11人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6人	4人	1人	11人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			8人	3人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・出勤時に事業所周辺の掃除を行っている地域の人と挨拶をして周辺の様子を話されたり、些細な内容でも聴きながら、事業所内でも会話のきっかけになればと思って行っている。 ・本人のこれまでの生活スタイルや人間関係などは職員に職員に共有してもらい理解できていることもある。 ・ご本人と接していない時間(宿泊部屋で過ごしている時間)にどのような動きをされるかカメラなどで分かることが出来る。 ・本人と家族・介護者との関係を保つために、介護記録を家族に公開して、日常生活の様子を見て頂いたり、連絡帳や電話連絡などで支援できている。 ・利用者の生活のスタイルや人間関係について折に触れ利用者本人やスタッフから話を聴く様にしているが十分ではない。3分間研修で新しい知識を得ている。 ・本人の家族さんや友人が面会にこられた時の対応はできていると思う。 ・本人と家族、介護者や地域との関係が切れないように気をつけている。 ・申し送り等で確認できている。 ・自宅での生活は職員から聴いて把握しているくらい。 ・利用者の居住地域の民生委員さんやご近所の方など、協力していただけることはお願いしている。生石地域外のご利用者の居住地域の民生委員さんが交代された時は連絡を必ず下さっている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自分から率先して行事を計画するように行動ができていない。日常的には地域との関りも少ないので試行錯誤している。 ・民生委員や地域の資源などは把握できていない。把握する機会が特になかった。 ・本人の今の暮らしに必要な事ができていない。民生委員や地域などの交流ができていない。 ・地域とご本人との関係を支援するとは言うことはできていない。事業所と地域の関係の中での関りはコロナ禍明けで徐々にできてきてはいるが個別としては働きかけができていないように思う。 <p>自己学習はしていない。日常生活に追われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人に必要な事はあくできていない。本人の情報を把握できていない。 ・事業所が直接接していない時間の本人の過ごし方の把握はできていないと思う。利用者本人からや訪問に入った際の部屋の中の様子を見ながら、きちんと聴き取りや確認ができていないと思う。 ・本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源など把握はできていない。介護以外のことなのであまりよくわからない。 ・直接、自宅に行く事がないので。夜勤専従なので。 ・地域の民生委員さんや自治会長さんも事業所がある地域との関りが主になってしまうことが多い。地域で独居で生活される方で近所付き合いが難しい場合もあり、情報収集がなかなかできていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>◎朝の時間に事業所周辺の掃除の継続（全職員が意識する。夜勤専従も含めて）する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 10 月 16日 (9:30 ~11:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員11名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員11人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		4人	2人	4人	10人

前回の改善計画	「くりた子どもひみつきち」(地域の小学生の放課後の居場所)の子どもたちと行事を一緒に 行い交流をもつ。
前回の改善計画に対する取組み結果	「くりたこどものひみつきち」の子どもとの交流で10月の第2木曜日から喫茶に参加してもらうことができた。 子供たち、2名と担当スタッフ1名で、一人の女兒が職員手作りのホットケーキを食して「今まで食べた中で一番おいしい。」と言い、微笑ましいような感動する一言で和やかな雰囲気になり、今後に繋げていきたい。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		4人	3人	3人	10人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3人	7人		1人	11人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1人	7人	2人	1人	11人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1人	9人		1人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の機嫌が悪く、介助の依頼を受けることもある。相手の気持ちを汲み取って和らぐように導いて、冷静に且つ温厚な気持ちで接することができた。 ・利用者のその時々状態や症状に応じての支援やかかわりをミーティング等で共有し行っている。 ・利用者の状態に合わせて、宿泊、訪問で様子を見ることができている。 ・ご本人や家族のニーズにに応じて「通い」「宿泊」「訪問」が適切に提供されている。ニーズだけでなくご本の体調に合わせた提供になるように心がけている。 ・日々の関りで日常の変化をミーティングで共有することに対して利用者の状況に応じて責任者や他の職員と共有できている。 ・その時の様子を見て対応ができている。 ・その日その時の本人の状態、ニーズに合わせた支援はできていると思う。 ・10月から、行事の喫茶からはくりた子どもひみつきちの子どもさんが喫茶に参加されることになり、初回は2人の子どもさんが参加してもらい、利用さんの交流ができた。 ・申し送りやスタッフ会等で得た話の内容からニーズに合わせた柔軟な支援を行っています。 ・日々の申し送り等で気付き等は伝えることができている。共有も行っている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者によって同じような対応をしても受け入れられない場合もあり、機嫌を伺いつつ奮闘している。利用者も十人十色で介助が容易に実行できたりできなかったり相違がある。 ・子どもたちと行事をいっしょに行い交流を持つ。コロナ禍でできる事が少なかった。また、できていても夜勤者は特に関わる機会が特にないため。 ・地域の資源を活用できていない。地域の資源そのものがわかっていない。 ・「くりた子どもひみつきち」の子どもたちと行事を一緒に行い交流をもつこと。コロナ感染対応もあり、できていなかったが、今後毎月実施している「喫茶」と言う機会を通じて交流を持つ予定にしている。 ・ご利用者の支援内容が把握できず、迷惑をかけることが数回あった。 ・地域の資源を使っての支援はあまりできていないと思う。地域の資源としてどんな物があるか知識不足であるため、提案もできていない。 ・本人の変化に気付いた時、責任者に報告するも、申し送りで他の職員に共有することができていない時がありとある。忙しくして忘れてしまう。後回しにして忘れてしまう。 ・直接かかわることがないため。夜勤専従のため。 ・出勤日数の少ない職員や夜勤専従の職員は申し送り記録を確認するにもタイムラグが生じてしまうので伝わり切れていないところもある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>◎「喫茶いくし村」の行事の時間を活用して地域の方との交流を再開、継続する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 10 月 16日 (9:30 ~11:00)

6. 連携・協働

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員11名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員11人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?		4人	2人	4人	10人

前回の改善計画	地域のイベントの一つでも多く参加して交流をもち、地域の方に一人でも多く事業所に足を運んで頂く機会を増やす。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所で行っている行事計画で、偶然にも面会に来られたご家族に参加していただけた。 ・地域のイベントとしては夏越し、地方祭、新玉地区運動会など、限られた人数ではあるが参加できた。 ・法人内の小規模多機能型居宅介護事業所対抗運動会を生石地区管理のグラウンドお借りしてコロナ明け、再開できた。今年度は天候が悪く、いくし村の事業所内で行った。ご利用者、職員とも会話、声援と共に準備した種目に臨まれていた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?	1人	3人	3人	4人	11人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2人	2人	7人	11人
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?		2人	2人	7人	11人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		2人	4人	5人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所に子どもたちや高齢者が訪れるように喫茶などのイベントが出来ている。 ・他事業所の方との会議ではサービス担当者会の時間でご本人の使用する福祉用具についての検討などが行えている。 ・事業所としては地域と交流を持つことはできている。 ・喫茶の行事でひみつきちの子どもたちの参加をはじめることができた。 ・地方祭でちょうちん行列の子どもさん達にお菓子を配ったり、御神輿に入って貰ったりして交流できた。 ・自治体や地域包括支援センターの連絡会や研修会に出来るだけ参加をしている。 ・福祉用具、訪問看護、訪問リハビリなど相談も含めて日常的に連携を行っている。地域のイベントもコロナが5類に鳴って以降、輪越し、地方祭、運動会に参加ができている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの会議に積極的に参加して事業所を広めたいと思う気持ちはあるが、きっかけがないのと地域住民の方との触れ合う機会が持てない。5類に移行した新型コロナの影響は継続していて地域活動への参加が十分できない。 ・地域のイベントに参加し、交流していない。特に機会がない。 ・地域包括支援センターの会議に参加できていない。運営推進会議の情報がわかっていないから。 ・入職して間がない為、機会が持てていない。 ・地域の活動に参加できていない。自分からほとんど参加できていない。 ・地域のイベントの参加や事業所ないでのイベントは行えていない。コロナで何年も行えていなかった事が大きいと思う。少しずつでも広げていき、地域の方々と接する機会を増やしていけばいいと思う。 <p>自治体や地域包括支援センターの会議に参加できていない。機会がないので。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との接点がないため、できていません。 ・まったくできていない。地域との関りが無い。夜勤専従の為。 ・地域の行事やイベントへの参加は事業所職員だけでは人員的にも限界がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>◎参加できる地域のイベントを増やし、継続しながら、近隣の高齢者や子供たちが気軽に立ち寄れるように敷地内のくりた子どもひみつきちを利用している子供たちから行事以外に遊びに来てもらうようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 10 月 16日 (9:30 ~11:00)

7. 運営

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員11名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員11人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	2人	2人	10人

前回の改善計画	コロナ禍で中止していたご家族や地域の方が参加できる行事を徐々に再開し、事業所の活動状況や運営についてご理解やご意見を頂く。運営推進会議の参加も願います。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議には毎回、地域の方が参加していただいている、避難訓練や応急手当などの講習にも参加していただいた。 ・法人で新たに隣接の土地の購入で地域の交流の場として活用できることはないか、会議の中でも意見を頂いたり、年1回の地域の総会で話をさせて頂く機会を持っていただく事ができ、まだ実働には至っていないが敷地内のくりた子どもひみつきちの活用も含めてご意見を頂いて

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1人	4人	4人	2人	11人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	7人	2人	1人	11人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6人		5人	11人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2人	4人	5人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士で意見を出し合い理解し合っている。また、話し合った内容を活かし業務を行えている。 ・利用者・家族からの苦情対応が出来るようにシュミレーションができている。 ・運営推進会議の参加をして頂き、その会議の内容は防災訓練、救命救急講習なども一緒に行う機会もあった。 ・利用者、家族からの意見や苦情を聞いた時は責任者に報告をしている。 ・利用者、家族、介護者からの意見や苦情を運営に反映できていると思う。 ・コロナ禍で中止していた行事を少しずつ再開できている。面会もできていて事業所も活気がでてきている。 ・何かあれば意見を言う事はできている。 ・日常の中で職員間で運営全般やケアについて疑問に思う事等率直な意見が交わっている職員が多いと感じる。地域やご家族からのご意見や苦情は即時的に共有して改善に向けて取り組む姿勢で臨んでいる。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響は継続していて参加できる行事も限られている。地域には直接関わっていないのでできていない。 ・地域の方と一緒に協働ができていない。地域の方がいろんなイベントに自由に参加できるように考えることができていない。 ・地域と協働した取り組みを積極的には行えていない。コロナ明けで、地域との関りが徐々に進んでいる状況である為、まだ、積極的に取り組みが行えてはいない。 ・入職後間もないこともあり、理解、把握ができていないことがある。 ・地域との関りの事ができていない。地域との関りが少ない。 ・職員として意見を言う事はできていないと思う。自分の思っている、考えていることが意見なのか不満なのか分からず呑み込んでしまう。 ・地域の方から、の意見や苦情など運営に反映できていない。地域の方とほとんど関りはあまりできていない。 ・事業所の活動状況や運営についてご意見を頂く機会がないため。 ・地域とのかかわりない。夜勤専従の為。 ・運営推進会議の参加者がなかなか増やせていない。ご本人やご家族からのご意見も汲み取っていない場合もあると思う。形ばかりになっていないかと思う。ひとり一人の方との時間をつくること不十分と感じることも 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>◎運営推進会議への参加を地域の方にも更にお願いをすることを継続して、現場の職員も時間をつくって交代で参加するようにする。（夜勤専従の職員にも参加してもらおう。行事の年間計画に入れる。）</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 10 月 16日 (9:30 ~11:00)
------------------	-----	-------------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員11名 (※サテライト事業所として自己評価対象職員11人)
-----------------	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	1人	6人	1人	2人	10人

前回の改善計画	ユマニチュワードの哲学、技法を専門家から学びケアに生かす。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ユマニチュワードのレクチャーを受けた職員からの内容の共有は不十分。レクチャーを受けた職員は概ね実施できている。他の職員へ共有は十分ではないが、「目を合わせ」「そっと肩に手を触れ」「話しかける」をケアの始まりに行うように周知している。職員の個性もあるが丁寧にコミュニケーションを図り、ケアを行う姿勢で取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1人	6人	1人	3人	11人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	3人	2人	5人	11人
③ 地域連絡会に参加していますか		1人	2人	8人	11人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか		6人	4人	1人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・人事評価で職員全員が個々にチャレンジシート作成し、自分に足りないものを洗濯して取り組み、毎月振り返りを行っている。 ・朝の職場内の3分間研修に参加している。 ・外部研修に参加できている。リスクマネジメントとして事故にならないように無理をしない介助をしている。 ・ユマニチュワードの哲学や技法を研修に参加した職員から学び、事業所として利用者とのかかわり方などユマニチュワードを取り入れた心がけをしている。 ・3分間研修を受け、他のスタッフの意見を聴いたり、自身で考える機会を持つことができている。 ・ユマニチュワードの研修で学んだことを行えている。 ・リスクマネジメントは取り組んでいる。また、共有して実施もできている。 ・今年春の介護福祉士の資格をとることができた。 ・事故報告書、ヒヤリハット等で自分なりにリスクマネジメントに取り組んでいます。 ・朝の3分間研修で取り組んでいる。 ・研修会はz o o mでの研修も含めて職場内、外もさ出来るだけ参加している。 ・転倒のリスクのある方の対応でセンサーマットやカメラ設置も行って、必要以上の対応は減ってはいるが夜 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・研修など殆ど参加できていない。事業所内で行っている3分間研修も午後からの勤務が多いので時間的にも参加できないことが多い。 ・職場外の研修に参加できていない。他の資格取得の為の勉強に励んでいるため。 ・地域連絡会がわからない。地域の方とあまり交流ができていない。 ・地域連絡会の参加はできていない。地域連絡会がどのようなことをしているか等理解できていないし、参加の機会もわかっていない。 ・研修の参加ができていない。自分の休みの日に研修に行く事をしていないためだと思う。 ・研修に参加できていない。いずれはと後回しにしてしまったのでこれから参加したい。 ・研修に参加できていません。 ・直接、研修を受けていない。何となくきっかけがない。 ・研修に参加できていない職員への促し。案内を置いて一度声を掛けただけにとどまっていることも多い。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>◎「食事をする楽しみ」と「口腔機能と誤嚥性肺炎」をテーマについて学ぶ。 ※口腔機能と介助時の留意点などを学ぶ。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 10 月 16日 (9:30 ~11:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員11名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員11人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	2人	7人	1人		10人

前回の改善計画	月のスタッフ会の議題に身体拘束や虐待につながるようなケア、言動も含めて振り返る。良いケアや対応についてチームで継続できるように評価を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ会の議題にない時も3分間研修で他部署の事例について意見を出し合い、自事業所の振り返りを行っている。 ・トイレ誘導の際に大きな声で対応を行っていることもあり、反省する。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	5人	6人			11人
② 虐待は行われていない	5人	6人			11人
③ プライバシーが守られている	3人	7人	1人		11人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	2人	3人	3人	3人	11人
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	3人	6人	2人		11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報に関しては厳粛に受け止めて対応している。 ・スタッフ会やスタッフ同士の話し合いでケアなどの振り返り、それを活かしたケア、利用者ひとり一人に合った関わりを行いプライバシーも守られ、個人情報の管理も行えている。 ・利用者の性格や尊厳を知りながら関わる事ができている。 ・身体拘束や虐待につながるようなケアについては振り返る事を取り入れている。良いケアや気付きなども確認している。 ・プライバシーの保護について脱衣場やトイレ介助の際には特に注意している。その他についても丁寧に対応ができている。 ・利用者の身体拘束になるようなケアはしていない。 ・虐待は行われていないと思う。 ・身体拘束や虐待につながるようなケアや言動を振り返ることができた。 ・身体拘束や虐待はしていません。 ・身体拘束については理解しているし、また、拘束もしていない。 ・ユマニチュード研修を通して哲学や技術を学び、現場で生かすように努めている。他の職員にはどのケアのはじまりでも、「目と目を合わせ」「そっと肩に手を触れて」「話しかける」を実践してもらっている。 	

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・身体拘束・虐待を直接行っていないと思っても、利用者自身が傲慢な態度な場合もあり、虐げられている感を感じる時もある。冷静になることを考えるようにはして助力するようにはしている。
- ・成年後見制度を活用しているかどうか知らない。知る機会が特になかった。
- ・成年後見制度を活用できていない。成年後見制度のことが分からない。
- ・毎月のきちんとした振り返りは不十分な時があるのと身体拘束（スピーチロック）についてはグレーな場面はある。スタッフ会議の議題として担っているの、毎月必ず実施できていないときちんとした振り返りにならない。現場でその都度振り返ることの意識を高めた方が良い。
- ・身体拘束は言葉で拘束は自信がない時がある。自分で自制して声をかけを行うようにしているが慌てている時や咄嗟の時に適当でない言葉を発しているように感じる時がある。
- ・個人の名前が記入してある用紙をシュレッダーにかけずに普通の紙にしてゴミに出してしまったり、個人名入りの薬袋を紙にしっかりと包まずに出してしまったりすることが良くなかった。そんなに重大と言う認識が薄く雑に扱ってしまっていた。
- ・夜間一人のため、控室の方から開けていないと他の利用者さんが動きが分かる為と訪室した時はあえて開けていることが多くある。他の利用者さんの事も把握していないといけないし、仕方がない事だと思っている。（夜間帯に関して。）
- ・ユマニチュード研修を受ける職員を増やす。（現在3名）

次年度までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・排泄介助時の言葉かけの仕方や声の大きさや申し送り時の声の大きさに注意する。
- ・スタッフ会で「ケアについての気付き」の議題の時に対応で良い点、改める点を振り返る。